

移行域および前線維筋性間質に発生した前立腺癌の発生部位頻度、進展パターンに関する検討および MRI 診断への応用に関する研究

1. 研究の対象

2007年6月～2014年12月に当院で前立腺疾患のためMRI検査を施行され、前立腺全摘除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

前立腺癌は全世界で3番目に多い癌であり、近年日本においても増加し、2020年には癌において男性罹患数第一位になると予測されています。MRI検査は前立腺癌の存在や局所的な進展を見るのに非常に有効であるとされています。しかし前立腺前方の移行域と言われている部位に発生する癌のMRI診断は難しいとされています。

今回の研究は移行域に発生した前立腺癌の発生部位と進展形式に関する研究です。本研究は防衛医科大学病院を受診されて、平成19年6月から平成26年12月の期間において、前立腺疾患のためMRI検査を施行され、前立腺全摘除術を受けられた患者さんを対象とする後方視的研究(既に行われたことをさかのぼって調査して検討すること)です。臨床的に必要とされたMRI画像、病理標本を再検討して、解析を加えようと思っています。このような研究は前立腺癌の診断をする上で非常に有益な情報となることが期待されています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、PSA値、病理所見 等

試料：MRI画像、病理画像 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院 放射線医学講座 新本 弘 (研究責任者)

TEL:04-2995-1211 内線 2341